



烏兔第98号（創立50周年記念号）発刊

記念講演会や展示会の一年延期が決まる中、烏兔記念号は予定通り発刊に漕ぎ着けましたのでお届けします。

内容は“50周年のあゆみ”と題して、会の半世紀にわたる活動の中で記憶に残る出来事を時系列にリストアップし、その内容説明は当時の烏兔記事によりました。（覆刻）

また、これまで実施した「例会行事」、「夏季公開講演会」、「烏兔掲載内容」、を資料偏として巻末にまとめました。

会設立の起源とこれまでの歴史を知っていただければ幸いです。（河本）

平群再発見！三里・梨本方面を散策

創立50周年記念事業が、予想もしなかったコロナ禍によって延期を余儀なくされ、例会も2月の堺市・大山古墳周辺の見学以来、自粛状態が続いています。

例会の開催を巡って役員会で議論沸騰、コロナ対策は？ 人数制限は？ 場所は？ コースは？ となかなか結論を得られないなか、従来のような例会の体は取れないにしても、興味をお持ちの会員さんに情報提供できればとの思いから、河本・岡村・繁田の3名で7月23日（祝）「三里・梨本方面」を巡りました。（散策される方は自己判断で、体調等十分に気をつけて下さい）

尚、参加された方は今後の参考にするため必ず河本迄ご連絡ください。

☎080-6112-3406 E.mail:canndynogg@kcn.jp

起点は平群駅前の**新総合文化センター**にしましたが、ここは開館日に要注意です。

毎週水曜日、国民の祝日、年末年始は休館しますので、駐車場は閉鎖されます。駐輪場へは入れますので、徒歩・自転車以外の方は電車のご利用を。

センターから踏切を渡り、突き当たるまで東に直進しますが、この辺りは旧道のままなので歩道はなく狭い、しかも車両の往来が多いので、安全確認をこまめにして下さい。道沿い右手（南側）に「叶堂道 東へ三丁」の丁石があります。見つけて下さい。この辺りは旧道ならではの佇まいが感じられます。道路拡幅計画がある



叶堂丁石

ようにも聞いていますが、丁石はぜひとも残してほしいものです。

大井出路線を渡り、突き当りを右折してすぐに左折、坂道を登り切る少し手前を右へ折れ、地道を矢田山方向に登ると、疫病の神として信仰されてきた^{かのうどう}叶堂跡があります。

本尊の千手観音像は拝観できませんが、馬頭観音の石仏は拝見できます。(ここまで所要時間約25分)



叶 堂 跡

来た道を分岐点まで戻り、さらに進むと右手に畑に続く細い道が。ここに入ってすぐ、念仏寺の北側に弘法大師ゆかりの「岩井の井戸」があります。

湧出量が多く干ばつでも枯れることはなかったと言います。



井戸の北側にある石仏です。
残念ながら下部が土に埋まってしまい、全体像を見ることはできませんが、三体彫られているようです。

坂道を西に向かって下って行くと、三差路の角に岩井辻の地藏堂が見えてきます。旧岩井邑の入口にあたるところで、旅する人はここで縁者に見送られて出立したそうです。

ここから北西に進むと三里古墳にあたります。玄室奥壁の床より奥行き1.5mの板石による棚が架せられています。

石棚のある横穴式石室の古墳は紀ノ川下流域に多いですが、奈良県下では三里古墳を含めて3例のみで、他の2基は吉野川(紀ノ川)流域に築造されています。玄室西より凝灰岩製の組合せ家形石棺がまず安置され、その後、羨道奥の組合せ石棺、棚の上下、玄室の東側、羨道前部にそれぞれ木棺が追葬されていたと考えられています。

古墳の手前に初代会長奥田権耳さんの句碑(写真右)があります。



奥田権耳さんの句碑(右)
ホトギス同人 橋本博さんの句碑(左)

「悴める手に金箔の出土馬具」

三里古墳を後に西へ歩くこと10分。バイパスは車が切れ目なく通りますので、途中から畦道をあきらめ、三里交差点にでて信号待ちするのが得策です。

北へ坂を上り、住宅の手前で左に入ると八幡神社に出ます。三里、岩井村の氏神で本殿

内に神鏡を安置し、八幡大神を祀っています。
延宝6年(1678)の石灯籠が最古。

新文化センターから歩くこと約1時間。
小休止にはちょうど良い場所です。



八 幡 神 社

梨本に入り、**長屋王墓**に参ります。平群町のゆるキャラとしてご存じの長屋くんのモデルになりました。今年は新型コロナの影響で中止になりましたが、毎年開催されている「へぐり時代祭」では、吉備内親王と共に時代行列を彩り、最も注目される存在となっています。長屋王の命日にあたる3月20日前後には宮内庁により正辰祭が営まれています。

この長屋王墓から北西約150mの位置に**吉備内親王墓**があります。かつては双墓状であったと言われていますが、周辺の住宅開発により道路で分かれたてしまいました。

梨本の踏切手前を登っていくと、10m程の円墳**藤城薬師塚古墳**があります。墳頂部には社が祀られており、後ろに墳丘が残されていました。主体部は不明ですが、横穴式石室と推測されています。

ここから上庄に抜けると、**紀氏神社**があります。延喜式に記載されている式内大社で祭神は平郡木菟宿禰。本殿は春日造で境内には三つの座小屋があります。秋には盛大に祭りが執り行われます。

神社に隣接して近年、公園が整備されました。地元の皆さんやボランティアの方が尽力された「ホタルの里公園」です。南に流れる外川に蛍が生息しているということがわかり、ホタルの餌となるカワニナの飼育や川底の整備を続けてこられた結果、ホタルが飛び交うようになりました。地域の癒しのスポットとなっています。

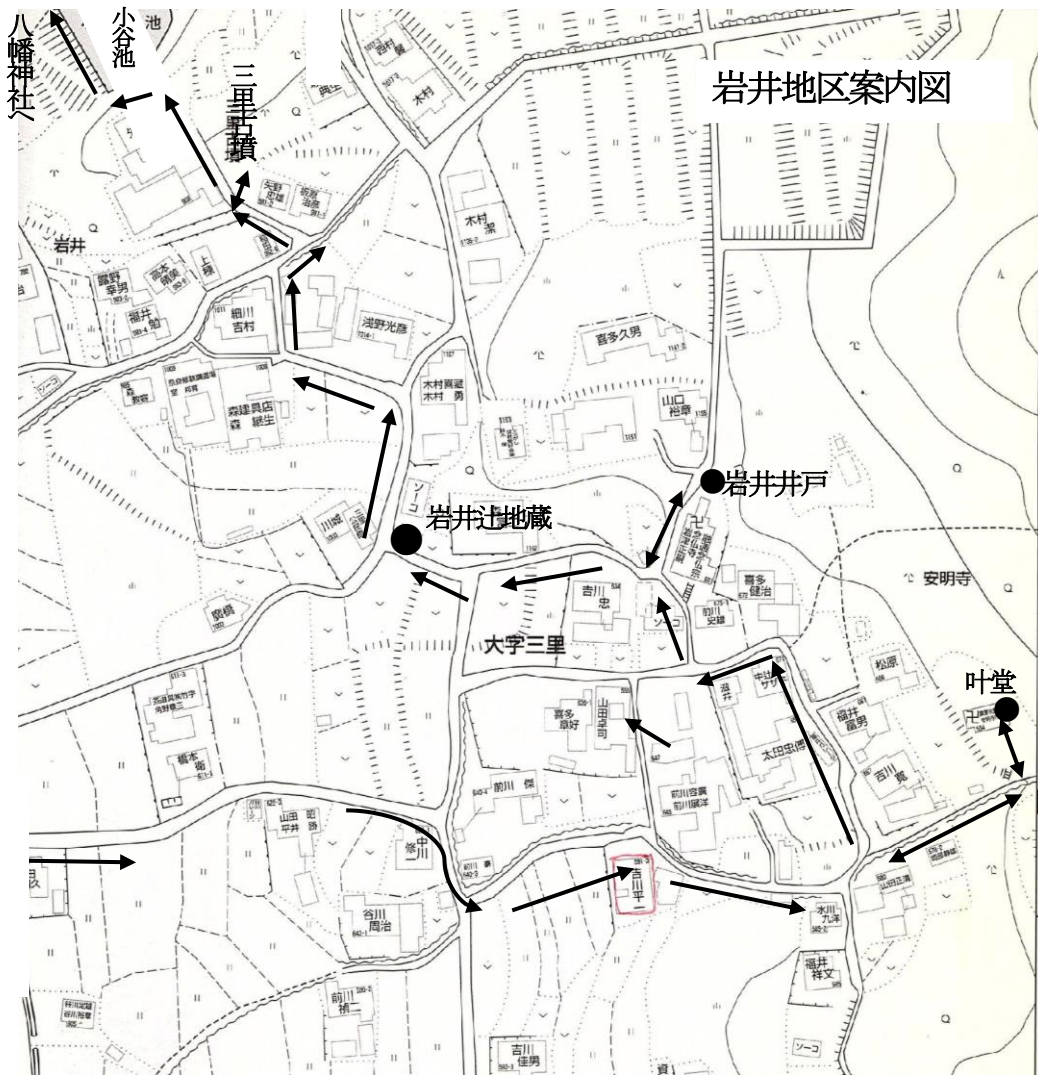


紀 氏 神 社

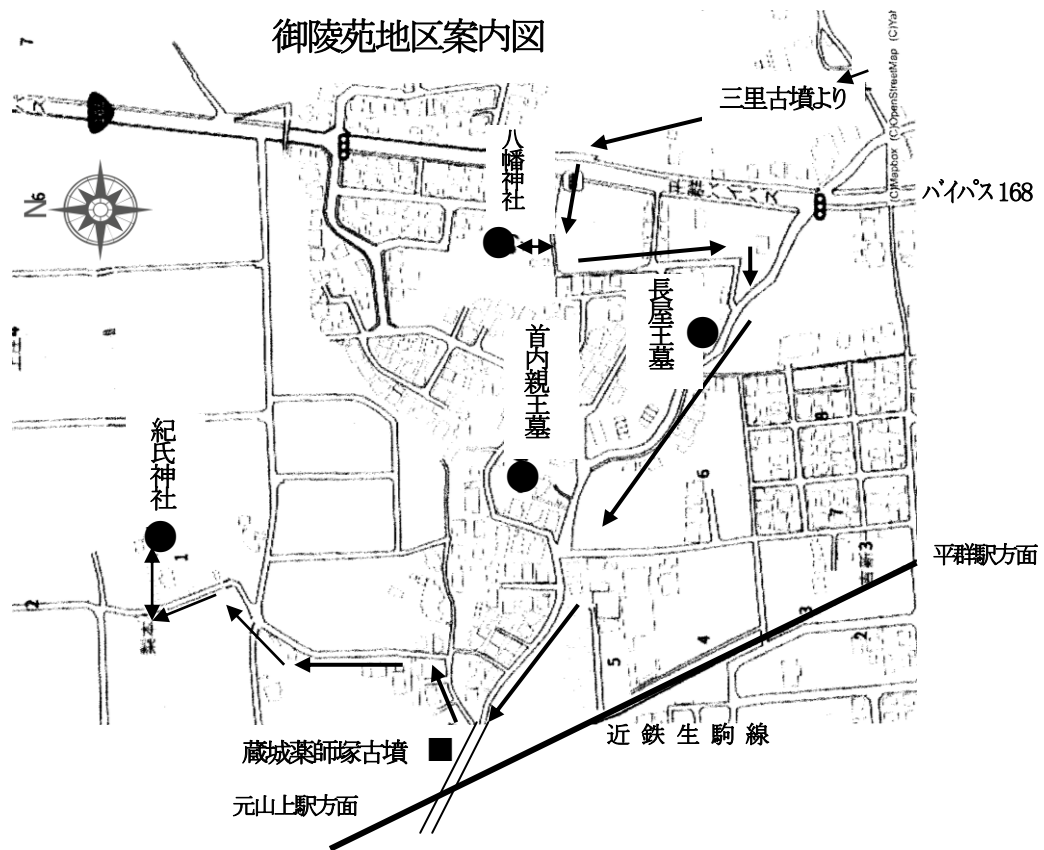
解散地の**元山上口駅**まで徒歩で約10分。2時間余りでゆっくり散策できました。歩いていて残念だったのは、道標があまりに少なかったことです。探索を楽しむのも一興でしょうが、旧道で入り組んでいるので、小さくても案内板があれば安心して進めたと思います。また、岩井の井戸などは立て札も読めなくなっており、井戸の蓋もちょっと改善が必要かと思います。町の旧跡や遺跡の保存のために、もっと力を入れていくべきだと改めて痛感しました。

三里・梨本方面散策コース





188バイパス
総合文化センター



※※※ 検討中の平群再発見！半日散策コース ※※※

○三里・梨本方面

総合文化センター(集合) → 岩井辻の地藏堂 → 三里古墳 → 長屋王墓 →
吉備内親王墓 → 紀氏神社 → 元山上口駅(解散)[3Km]

○西宮・若井・春日丘方面(令和2年度総会后訪問先として計画済み)

竜田川駅(集合) → 西宮古墳 → 剣上塚古墳 → 下垣内城跡 → 西宮城跡 →
平群神社 → 烏土塚古墳 → 竜田川駅(解散)[4km]

○椿井方面

道の駅(集合) → 椿井西入口石仏(椿井線刻石仏) → 椿井墓地 → 椿井井戸 →
宮裏山古墳 → 宮山塚古墳・椿井春日神社 → 椿井北古墳 → 道の駅(解散) [2Km]

○福貴方面

総合文化センター(集合) → ツボリ山古墳 → 庚申塔・北福貴地藏堂 →
普門院跡 → 藤田家住宅 → 白山神社(福貴寺跡) → 福貴弘法井戸 →
地藏寺 → 総合文化センター(解散)[3Km]

○菊美台・上庄・槻原(緑ヶ丘)方面

東山駅(集合) → 馬鋤淵 → 金勝寺 → 槻原勧請の地・大井手用水起点 →
生駒山口神社 → 櫟原橋 → 元山上口駅(解散)[3.5Km]

.....等

平群史蹟を守る会